



広報 さくら

ご利用者に
安らぎと幸せを

令和7年度キャッチフレーズ 「GO BEYOND」

この地域の力を信じ、どんな課題も乗り越える

VOL.01
2025.05.12

令和7年3月1日開設

看護小規模多機能型居宅介護

美吉野ごゆるり園

看護サービスを中心に、ご自宅から事業所へ通っていただく「通いサービス」、事業所からご自宅へ看護・介護スタッフが訪問する「訪問サービス」、事業所内に宿泊する「宿泊サービス」をニーズに合わせて柔軟に提供させていただきます。登録制となっており最大29名、通所定員18名、宿泊(個室)定員7名です。医療依存度の高い方や退院直後で不安な方、在宅生活での看取り支援が必要な方が、自宅での生活が継続できるようにご利用頂くサービスです。顔なじみの介護・看護スタッフが対応しますので、安心してご利用・お過ごし頂けます。

施設見学を随時受け付けております。お気軽にお問合せください。



障害支援施設 わーくさぽーとPono

就労継続支援B型事業として、美吉野園内の売店で利用者の就労支援をおこなっています。売店では、Pono利用者がお店番をされ、そのサポート業務をおこないます。事業所以外での活躍の場を提供しています。

担当する安井由希子さんは「今、介護美容を勉強中です。これまでの知識と経験も活かし仕事に反映させたい。コミュニケーションを大切に、タッチケアやネイル、メイク等、一人一人に合った施術を行い、笑顔を増やせるような支援をしていきたいです。」と目標を持って利用者と向き合っています。



養護老人ホームの現状と新たな活用法

近年、養護老人ホーム利用率が低下しており、奈良県においては全国平均より低い利用率となっています。利用していただくには自治体(市町村)の決定が必要です。利用率低下の原因のひとつが、自治体の財政不安と言われています。利用者の入所費用の一部又は全部を自治体が負担する仕組みとなっており、利用へ繋がり難しくなっています。

そこで、空床を活用し施設に直接申し込みいただき養護老人ホームを利用(入所)することが出来る契約入所サービスを開始しました。サービス内容は次の通りになります。

食事提供 健康管理 安否確認 入浴確認
相談援助 レクリエーション 介護サービス調整

要介護認定の有無に限らずご利用が可能です。概ね自立されている高齢者を対象とした入所サービスです。介護が必要な方もご利用出来ますが、訪問介護・デイサービス等の介護サービスを利用して頂くことになります。利用料金は前年度の収入に応じた設定となっています。

老人寮契約入所 担当：田中・瀬貝 ☎0747-52-5555

第6回 Pono マルシェ開催

令和7年5月25日(日) 10:00~15:00

昨年10月開催時は、14店舗に出店いただき参加者が400名を超えるイベントとなりました。

今回は「ゲロゲロじいさんの読み聞かせ」、延明保育園のみなさんによるバザー、Ponoクッキー販売等の催しを行います。皆様のご来場をお待ちしております。📍大淀町下淵1387-2 @完備 ☎0747-52-1717



広報 さくら

ご利用者に
安らぎと幸せを

令和7年度キャッチフレーズ 「GO BEYOND」

この地域の力を信じ、どんな課題も乗り越える

VOL. 02
2025.06.18



インクルーシブケアセンター美吉野園

訪問介護 サービス提供責任者 福井 準

訪問介護サービスは、お一人お一人違った環境で生活されており、その場所にお邪魔してサービスを行うので、難しさもありますが、やりがいのある仕事です。私達が携わることで最期まで家で過ごして頂くという想いを持ち、チームでサービス提供をおこなっています。

利用者さんから学ばせてもらう事が沢山あります

利用してくださる目的や背景が違い、気づきと学びに繋がりが、勉強させてもらっています。

その地域ごとに景色やコミュニティの雰囲気、地区の良さを知ることが出来るのもこの仕事の魅力のひとつです。

日々の業務で大変と感じる事はありません。毎日、充実した1日を送ることが出来ています。この地域では訪問介護の担い手不足が深刻です。私たちが、利用者さんに寄り添い、住み慣れた町でこれからも生活が送れるようサービス提供し、信頼される事業所であり続けたいと思います。

特養寮 “UNION”アコースティックコンサート

“UNION”は、高校軽音楽部の「聴いてくださる方の心に届く音楽」という同じ想いをもった仲間が集まり結成されました。卒業後、それぞれの道へ進まれましたが、学生時代からの想いは変わらず、デイサービスや老人ホームを中心にコンサート活動を行っておられます。高校時代、美吉野園でのコンサートを通して「心に届く音楽」を奏でたいという気持ちが芽生えた場所でもあり、現在もコンサートを行って頂いています。



コンサートの選曲は皆さんが馴染みがあり職員も一緒に楽しめる曲をと工夫されてます。参加された方が口ずさめ、途中楽器を触るコーナーがあり、最後は合唱で一体感を演出された構成。

終演後「練習と音合わせの時間を無理して作らなければならないが、聴いてもらえる喜びがあるので仲間と活動が続ける事が楽しいし、もっと多くの人に聴いて貰いたい」とメンバーの皆さんにお伺いしました。



福祉×農業＝地域共生 わーくさぼーとPono 吉野学園 共同事業

わーくさぼーとPonoと吉野学園は、大淀町大岩地区の農地を借り、指導を受けながら野菜の作付け、収穫をおこない販売しています。この地区に限らず農業に従事されている方が高齢で担い手不足が深刻です。農業と連携し、高齢化問題をサポートしています。

今の時期は、玉ねぎ・ジャガイモを収穫し、これからは夏野菜を収穫します。猿などの獣害に合うことも多く、実った野菜が収穫できない事もあり、改めて農業の厳しさを感じます。日々悪戦苦闘する事で、収穫する喜びと野菜を食べて頂いた方の「美味しかった」の一言を励みに事業に取り組んでいます。これからも農業だけでなく、地域活動や地区の催しへの参加、農業塾のお手伝いなど、ご利用者と共に地域共生の活動をおこないます。

